

令和2年度 ひらつか市民活動センター相談記録

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に、ひらつか市民活動センターに来館又は電話、メールにより相談を受けた件数をまとめたもの。相談の際は、詳しい相談内容の他に、相手の職種、年代、性別について教えていただける範囲で聞き取りを行っている。

協働運営を行うNPO法人湘南NPOサポートセンターの知識や経験を活かして、予約制の専門相談を行う等、相談機能の強化を図っている。また、スタッフ研修を行い、どのスタッフでも相談対応が可能なように努めている。

○ 相談件数

令和元年度：357件 → 令和2年度：241件

※相談件数は専門相談を含む。

○ 相談内訳

相談内容	登録団体	一般団体	登録外団体・市民	合計	R1年度実績
ボランティア関連	0	0	12	12	29
市民活動団体を知りたい	2	0	18	20	39
センター登録	0	1	32	33	88
団体設立	0	0	3	3	13
NPO法人設立	0	0	2	2	7
助成金	17	0	5	22	19
組織運営	25	0	4	29	13
協働	0	0	2	2	2
その他	22	0	40	62	86
フォロー	28	0	28	56	61
合計(含 専門相談)	94	1	146	241	357

○ 相談者別傾向、対応等

センター登録団体(市民活動団体)

- ・組織運営、助成金： 助成金獲得、情報発信、事業運営、人材活用等についての相談
→ 団体には解決の糸口となる選択肢や情報を提供しながら、解決の手助けができるように心がけている。
コロナ禍の影響で、相談件数全体では減少したが、組織運営に関する相談は増えた。また、助成金に対するニーズも高まっていた。

登録外団体・市民

- ・センター登録： 新規に団体登録したい
→ 件数全体は減少したが、センターの団体登録や施設利用に関する相談を受けている。
丁寧に説明することで、センターへの団体登録、利用に結び付けている。

専門相談 70件

- ・組織運営： 助成金、会計税務、団体運営、法人設立などの相談
→ 前年度に引き続き曜日を指定せず、専門的な相談内容のものを専門相談として丁寧に対応した。
相談内容により、連携する専門家や市内団体に相談員として協力をいただいた。

○ 令和3年度以降の課題

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年に比べ相談件数が33%（116件）減少した。一方で専門相談の件数は増加し、助成金や会計・税務といった資金面での相談が多かった。コロナ禍において、オンライン化を図る動きが強まったことから、ZOOMなどのオンラインツールの使い方などの相談もあった。
今後は、オンラインと対面どちらでも相談を受けられる体制を検討するなど、withコロナの時代に対応していく必要がある。